



YASKAWA



株主のみなさまへ

第90回 事業報告書

平成17年3月21日 ▶ 平成18年3月20日



機械と人間の共生へ—Quality & Beauty

株式会社 安川電機

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社および子会社、関連会社を含む当グループの当期の業績について、概要をご報告申し上げます。

当期における経済情勢は、欧米およびアジアでは総じて堅調に推移し、国内では、設備投資の回復や雇用状況の改善、個人消費の持ち直しにより、期の後半にかけて景気回復傾向を強めてまいりました。

このような経済環境を捉え、当グループでは市場戦略とイノベーションによる高付加価値化および事業拡大の実現に向けた方策をスピードを上げて展開するとともに、成長市場である自動車関連、半導体・液晶関連市場等に対し、マーケティング強化による市場攻略および営業活動の強化、ならびに新製品の早期戦力化による利益率の高い市場への拡販を行い、収益力向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は前期比4.3%増の3,229億16百万円となり、利益面につきましては、営業利益は前期比39.7%増の244億86百万円、経常利益は前期比39.7%増の243億31百万円、当期純利益は前期比

446.1%増の101億57百万円となり、いずれも過去最高の業績を記録いたしました。また、売上高、営業利益、経常利益については4期連続の増収・増益を達成いたしました。

なお、当社個別業績につきましては、売上高は前期比1.0%減の1,895億18百万円となりましたが、営業利益は前期比115.7%増の81億46百万円、経常利益は前期比62.4%増の130億47百万円、当期純利益は38億3百万円と前期から77億85百万円改善し、営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高となりました。

以上のような業績をふまえ、株主配当金につきましては、1株につき普通配当5円に、当社創立90周年記念配当1円を加えた6円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界経済は、米国経済の減速が懸念されるものの、欧州・アジア市場は回復、拡大傾向にあり、国内においては原油高や為替変動のリスクは懸念されるものの、設備投資の増加等を受けて、景気回復傾向は持続するものと思われま

こうした中で、当グループは平成17年度までの中期

YASKAWA

経営計画“Win21 プラス”の成果および課題をふまえ、持続的成長と高収益化をさらに強気に推進するため、平成18年度から平成20年度まで3か年の新中期経営計画“ダッシュ100”をスタートいたしました。

“ダッシュ100”では、シェア・事業規模・収益性における真のグローバルNo.1事業の確立、新規事業の立ち上げ・育成、売上高経常利益率10%の早期実現の3つを基本方針としており、初年度となる平成18年度においては、以下の施策を実行してまいります。

まず、注力市場である、自動車関連、半導体・液晶関連向け等でのシェアアップと中国を中心とした成長市場であるアジア市場、収益性の高い欧米市場への拡販、インド等の新興市場への取り組みの強化を行います。また、新製品開発のスピードアップならびに新規事業の創出に取り組むとともに、生産性向上を図ります。

つぎに、ブランド価値の源泉である製品品質および業務品質の一段のレベルアップを行ってまいります。

また、国内外の各地域における統括機能を強化し、地域特性に合った柔軟な営業戦略の実施によりグループ総合力を最大限に発揮し、業績拡大を実現してまいります。

さらに、業務改革の推進力として、内部統制システムを

より強固にするため、業務の標準化を進め、客観性・透明性の高い業務プロセスの構築を目指すとともに、法令遵守、リスク管理等の徹底を行ってまいります。

これらの施策を通じて、企業価値の向上を目指してまいります。

株主のみならず皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



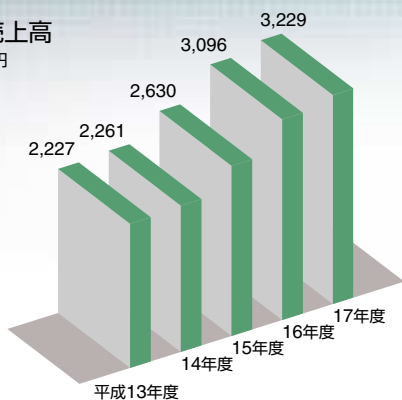
取締役社長

利島 康司

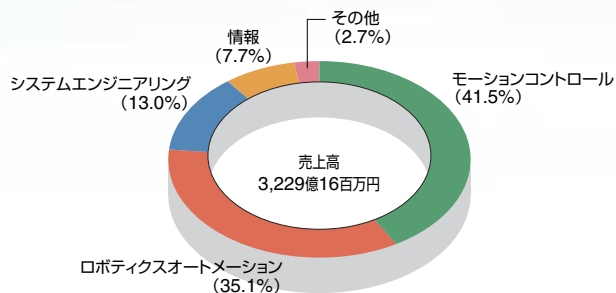
業績の推移

● 連結売上高

単位：億円

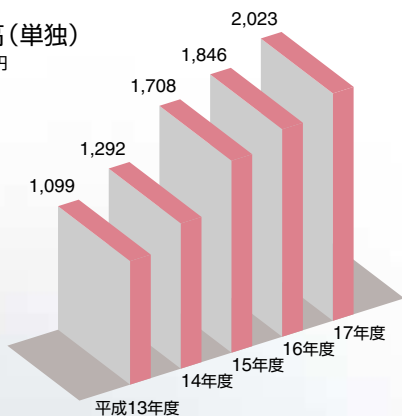


● 連結売上高の部門別比率 (平成17年度)



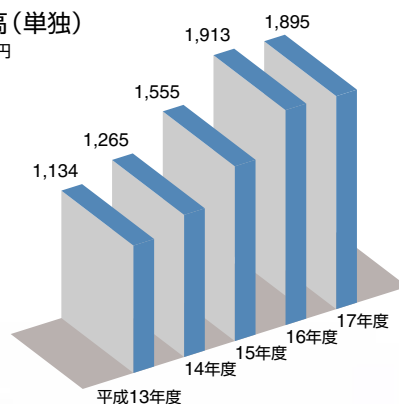
● 受注高 (単独)

単位：億円



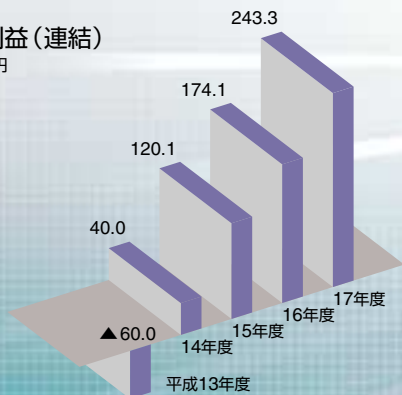
● 売上高 (単独)

単位：億円



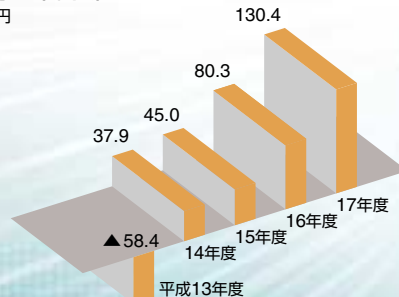
● 経常利益 (連結)

単位：億円



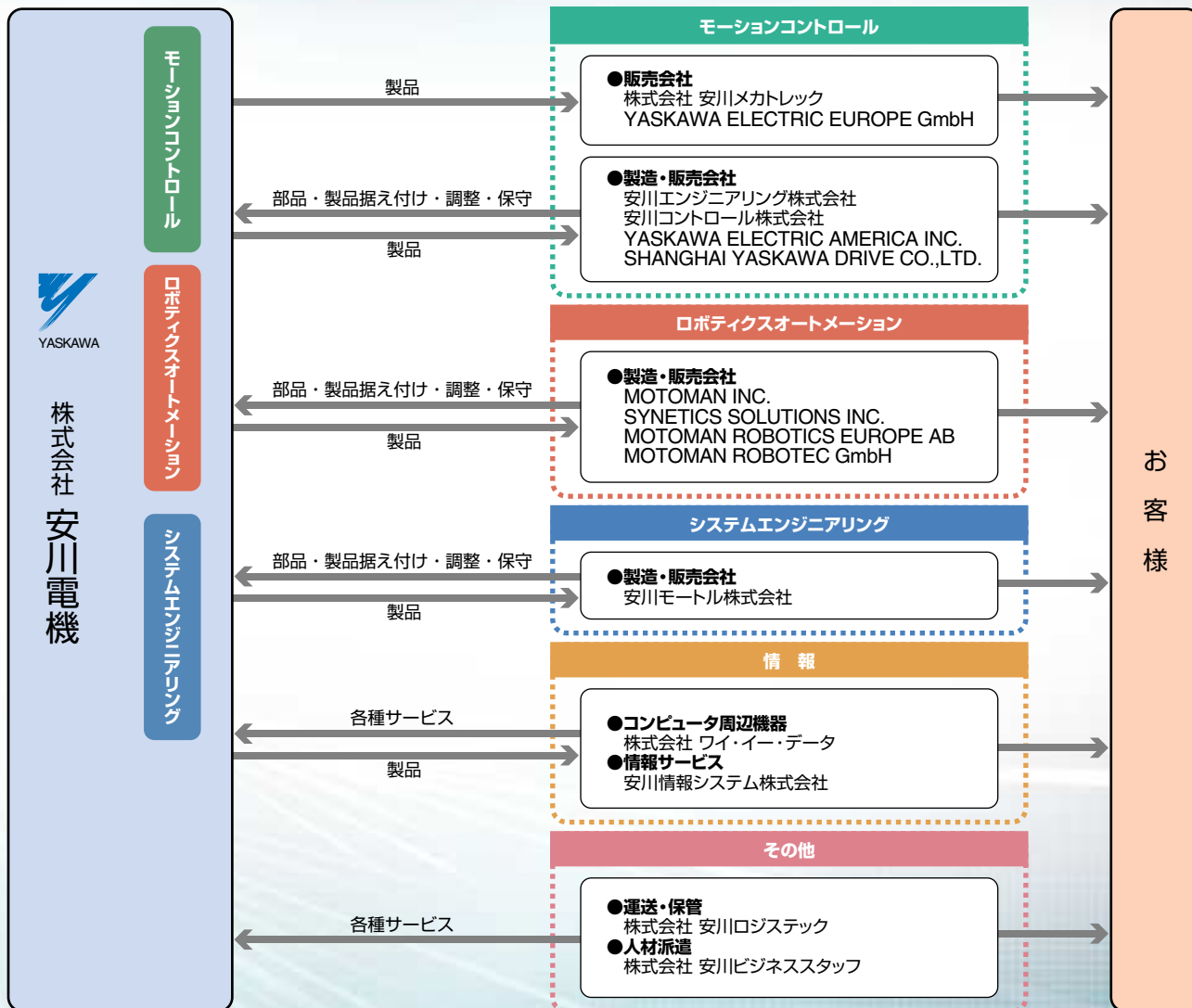
● 経常利益 (単独)

単位：億円



グループの状況

当グループは、当社を中核として子会社79社および関連会社26社（平成18年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボティクスオートメーション」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



業績の推移／グループの状況

(注) 上記の会社はすべて連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データおよび安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第2部に上場しています。

部門別の概況



モーション コントロール

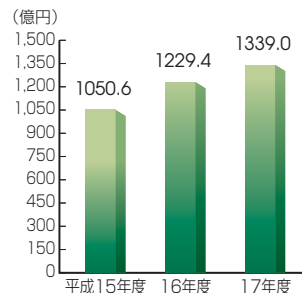
主要製品

ACサーボモータ・制御装置	高速モータ	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	小形精密モータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	複合モータ	NCシステム
リニアモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	高周波インバータ	その他

当部門においては、製品別には、ACサーボ・コントローラは、主力市場の一つである半導体・液晶関連市場において前年度下期の需要減少局面から回復の傾向が強まり、自動車関連向けを中心とした工作機、金属加工機市場における需要も堅調に推移しました。また、インバータも中国を中心としたアジア市場の空調・エレベータ向け等の需要拡大もあり堅調に推移しました。営業面では、営業力の強化による市場開拓の推進と、高付加価値化への取り組みとして新製品の拡販による採算改善活動に努めました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比8.9%増の1,339億9百万円、営業利益は前期比34.6%増の122億78百万円となり、いずれも過去最高の業績となりました。

売上高の推移



ロボティクス オートメーション

主要製品

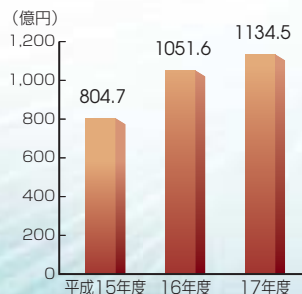
アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

当部門においては、製品別には、注力している自動車関連業界向けは、市場攻略と営業強化により、引き続き主力のアーク溶接、スポット溶接、塗装ロボットのシェア拡大を図り、その成果が現れましたが、下期に入り設備投資の調整局面による一時的な需要減少がみられました。また、液晶ガラス搬送用ロボットについては、液晶需要の拡大に対応したガラスサイズの大型化、および高速搬送のニーズにそれぞれお応えした新製品を投入し、その効果が現れました。一方、半導体製造装置向けクリーン・真空ロボットにおいては、期の後半に至り回復傾向が出てまいりました。

生産面では、生産能力の増強および生産性向上を狙いとしたロボット新工場「モートマンステーション」を建設、稼働を開始いたしました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比7.9%増の1,134億58百万円、営業利益は前期比35.3%増の98億50百万円となり、いずれも過去最高の業績となりました。

売上高の推移



システム エンジニアリング

主要製品

鉄鋼プラント用電機システム
上下水道用電気計装システム
道路設備電源システム
環境プラント用電機システム
エレベータ制御システム

パワーメカトロシステム
港湾荷役用クレーン制御システム
紙・フィルム・液晶等可変速ドライブシステム
システム情報制御機器
中容量高圧インバータ

高圧開閉装置
コントロールセンタ
システム制御盤
電力用配電機器
永久磁石内蔵形回転機

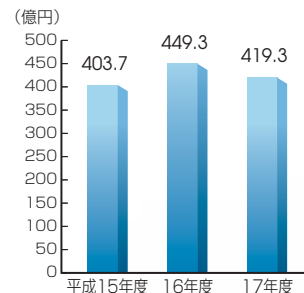
中大形誘導電動機
中形発電機および発電装置
その他産業用回転機
その他

当部門においては、厳しい市場環境下、得意分野への特化およびコストダウンの強化を図り、利益構造の改革を推進いたしました。

製品別には、上下水道用電気計装システムは競争激化の影響を受けましたが、鉄鋼プラント用電機システムは、鋼材の需要増に対応する設備更新需要を取り込むことに注力いたしました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比6.7%減の419億32百万円、営業損益は2億59百万円の損失となりましたが、前期に比べ、18億33百万円改善しました。

売上高の推移



部門別の概況

主要製品

情報

・フロッピーディスクドライブ
・二次元コードマーキング・読取装置
・情報処理ソフトおよびサービス

・OA機器
・その他

その他

・物流サービス
・人材派遣
・その他

当部門においては、当グループ内でコンピュータ周辺機器事業を担う株式会社ワイ・イー・データは、フロッピーディスクドライブの需要減少等の影響を受けましたが、新規事業開拓に努めた結果、増収・増益となりました。

一方、情報サービス産業を担う安川情報システム株式会社は、業界内の競争激化および高付加価値事業の売上減少の影響を受けました。

この結果、部門全体では、売上高は前期比2.5%減の247億83百万円、営業利益は前期比30.5%減の10億42百万円となりました。

その他の部門においては、売上高は前期比20.8%減の88億33百万円、営業利益は前期比3.0%減の16億86百万円となりました。

売上高の推移



情報・その他

人と共存するフォルムのロボット MOTOMAN-DA/IAシリーズ

人と共存し、人を補助するために開発されたMOTOMAN-DA/IAシリーズは、人の体の特徴を取り入れた新構造の産業用ロボットです。

今までロボットの適用が難しかった組み立て作業ラインにおいて、最小限の設備変更で人と同じ作業を実現できる「業界初のロボット」として注目を浴びています。

組み立て作業（ボルト締め、部品組み付け・挿入作業、部品搬送作業など）に用いるほか、新たなアイデアやお客様からのご要望を取り入れながら、ラインアップを充実させてまいります。



腕ロボット MOTOMAN-IA20

- 人の腕をイメージして開発しており、まっすぐに伸ばした状態で約160cmの高さになります。
- 関節は7つあり、20kgの重量物を持つことができます。腕全体を回転させる軸が1つあります。
- 今までの産業用ロボットや人では困難な狭い場所での動作が可能です。



双腕ロボット MOTOMAN-DA20

- 人の上半身をイメージして開発しており、成人男性とほぼ同じ大きさです。
- 各腕には6つの関節があり、20kg（両腕で40kg）の重量物を持つことができます。胴体部分は回転できます。
- 人の腕以上に動作範囲が広く、自由自在な姿勢をとることができます。

小形ロボットのラインアップ充実

小物・軽量物の搬送用途に最適化した小形ロボットシリーズと、超小形コントローラNXC100を新たに開発しました。ロボットの取り付け場所は一般的な床置きだけでなく、壁や天井への取り付けも可能です。生産設備の水洗いが必要な食品分野用途には、オプションで防水仕様も準備しており、MOTOMANの適用分野を拡大します。



◆ 新コントローラ NXC100

- 超小形：幅485×高さ183×奥行300mm
(当社従来機種比 1/10)
- 軽量：質量16kg(当社従来機種比 84%減)



◆ MOTOMAN-HP3シリーズ

- 標準タイプ MOTOMAN-HP3:
最大動作範囲 半径701mm、
可搬質量 3kg

◆ プログラミング ペンダント



新形パレタイジングロボットを商品化

物流分野では、パレットとよばれる商品搬送用の荷台やケースに、米袋やビンなどの搬送物を整列・積み上げて保管・搬送しています。このパレタイジング(整列・積み上げ)作業を今まで以上に効率化するために、業界トップクラスの能力を発揮するMOTOMAN-EPLを商品化いたしました。

◆ MOTOMAN-EPLシリーズ

- MOTOMAN-EPL160(最大可搬質量160kg):
箱、袋物の整列・積み上げ
- MOTOMAN-EPL300(最大可搬質量300kg):
ビン、ペットボトルの整列・積み上げ



MOTOMAN-EPL300

機械への組み込みが簡単なシリンダ形 リニアモータ Σ -Stick

1999年にリニアサーボモータを市場投入し、主に半導体製造装置、電子部品実装機、工作機などの用途で使用され、機種を拡充してまいりました。

近年では、一般搬送用途においても、高速化・高精度化・長ストローク化のニーズが高まり、「リニアサーボモータ」の適用が具体化しています。しかし、取り付けが難しいという問題点があり、その解決策として、機械への取り込みを容易にしたシリンダ形リニアモータ Σ -Stickを商品化しました。

(社)日本電機工業会が主催する「システムコントロールフェア2005」での出展において、お客様から大変ご好評をいただいております。今後も拡販に努めてまいります。



業界初!サーボ調整が不要 ACサーボドライブ JUNMA

簡単なセットアップを目指したJUNMAは、箱から出して配線するだけで抜群の位置決めを実現できる業界初のサーボドライブです。調整が難しいという理由でサーボの適用がすまなかった一般産業用機械を中心に、積極的に拡販してまいります。



安川情報システム株式会社

NetSHAKERブランドサイト開設

ネットコミュニケーション事業では、情報化社会の市場ニーズにマッチした自社オリジナル製品を開発・販売しています。この中でも特にインターネット・セキュリティ関連製品として実績のあるNetSHAKERシリーズについてブランドサイトを開設いたしました。

NetSHAKERのブランド名は、ネットワーク同士を“つなぐ”という意味で命名されました。ブランドサイトではこの“つなぐ”を表現するとともに、従来からあるハードとしてのNetSHAKERのイメージから脱却し、「信頼性」「適合性」「独自性」「拡張性」などのコンセプトから成り立つ「ハードとソフトを一体化したサービス」としてのNetSHAKERをアピールしています。

是非とも『Link@ NetSHAKER Style』の世界をご体感ください。



URL <http://www.netshaker.com/>

株式会社 ワイ・イー・データ

フォトキオスク専用カードリーダー 「KIOSK Reader YD-8V31」を発売

フォトキオスク（量販店やコンビニを中心に急速に普及が進むセルフサービスによるフォトプリントサービス用端末）専用のメモ리카ードのリーダー（データ読取装置）を発売いたしました。



KIOSK Reader YD-8V31

新工場「モートマンステーション」竣工

～グローバルNo.1のロボット生産拠点へ～

好調に推移する産業用ロボットMOTOMANの受注と今後の拡販計画に対応するため、本社敷地内に新工場「モートマンステーション」を建設、本格稼働を開始いたしました。

「モートマンステーション」と、既存の工場・設備の強化と再構築によってロボットの総生産能力は50%増の2,000台/月となり、世界最大の生産拠点となります。開発・情報発信の中心基地である「モートマンセンタ」に、生産を支える新工場「モートマンステーション」を加え、グローバルNo.1のロボットメーカーとして一層の飛躍を目指してまいります。

新工場の特長

- 部品や製品の移動距離を最短にするライン構成
- JIT（ジャスト・イン・タイム）供給による保管量の削減
- 量産機種と個別対応機種に分けて、最適生産方式を採用
- 自社ロボットの活用による自動化・省力化の検証

「複数の腕があり、自由に移動できる自立型ロボットを含め、世界の工場や生産環境で活躍するロボットの生産拠点として、人間とロボットが協調して働き、ロボットを作り出す」というコンセプトのもと、新形ロボットを実験的に活用してまいります。また検証結果は、今後のロボット開発やお客様へのご提案に生かしてまいります。

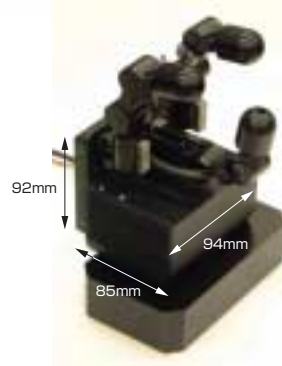


多指ハンドユニットを開発



今回で紹介する多指ハンドユニット*は、3関節3指を持っており、質量は1,000gで、1kgのものを持つことができます。当社のロボットアームに搭載して、人が作業をするように、部材をつかむ、移動させるなど、人の手のような複雑な動きが可能となります。

平成19年度には出荷できるように準備を進めています。



*: (独) 中小企業基盤整備機構殿の支援を受け開発したものです。

「高専ロボコン2005」に協賛

18回目となる「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2005」に協賛いたしました。同大会は延べ1万4千人あまりが参加してロボット作りを競う全国規模の教育イベントです。全国8地区の地区大会で選ばれた25チームが全国大会に進出しました。各会場では「広報コーナー」を設置して当社をご紹介いたしました。



韓国 Rockwell Samsung Automation 社とのインバータ技術提携

韓国の産業界において、省エネ機能の充実・高効率化や低価格化などの要求が高まる中で、Rockwell Samsung Automation Co. Ltd. (RSA 社) は世界トップレベルにある当社の高性能電流ベクトル制御搭載汎用インバータ「Varispeed F7」に着目し、技術提携に至りました。

当社とRSA社の前身である三星航空産業株式会社とは、平成2年（1990年）から汎用インバータの技術提携を行っており、今日では20%近いマーケットシェアを得ています。今後とも韓国市場で一層のシェア拡大を図ってまいります。



技術提携の内容

汎用インバータ「Varispeed F7」の韓国市場における製造および、販売権の供与

対象機種：200V系列 16機種
400V系列 17機種



高圧インバータの受注好調

平成17年度の高圧インバータFSDrive-MV1Sシリーズの受注台数が、前年度から倍増の100台以上となりました。京都議定書の発効を機に、あらゆる産業分野における省エネに対する意識の一層の高まりに加え、これまでの豊富な納入実績が高信頼性を実証しており、これらがFSDrive-MV1Sシリーズのヒットに結びついています。今後も、新規販売ルートを開拓し、さらなる受注増を目指してまいります。



新しい「北九州空港」において、 安川グループの製品と技術が活躍！



SmartPalがテープカットに参加

平成18年3月16日の開港セレモニーでは、安川電機が開発した次世代ロボット「SmartPal」がテープカットに加わり、ご出席の皆さまと一緒に開港を祝いました。

「MOTOMAN」の実演デモ

空港ターミナルビル2階の日産自動車株式会社展示ブースでは、同社九州工場での車の生産の様子が紹介されており、溶接作業のデモを行うMOTOMANの実物をご覧ください。



案内ロボット

空港内で「銀河鉄道999」のメーテルの姿をしたロボットが質問に応じて空港内の施設を案内したり、バスの時刻や周辺の観光スポットを教えてください。

このロボットは文部科学省の連携融合事業として、九州工業大学と(財)北九州産業学術推進機構のロボティクス研究所によって共同で開発されました。ロボット本体の関節部分と走行部分には、安川電機のACサーボモータとサーボバック、制御には安川情報システム株式会社のソフトウェアが使われています。



(C) 松本零士・東映アニメーション

※同写真およびキャプションについて、松本零士・東映アニメーションの承諾なしに複製、改変、転載、蓄積、頒布、販売、出版、放送、送信などを行うことは禁じられています。

空港内の看板広告

モータからのびる影がロボットのシルエットを形づくっているのは、モータ技術が時代とともに進化して、現在の最先端テクノロジーへつながっていることを表現しています。



連結財務諸表（要約）

● 連結貸借対照表（平成18年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	169,192	流動負債	128,973
現金及び預金	12,147	支払手形及び買掛金	65,082
受取手形及び売掛金	85,012	短期借入金	30,274
有価証券	53	未払費用	16,951
たな卸資産	58,177	未払法人税等	4,797
繰延税金資産	7,169	その他	11,867
その他	7,364	固定負債	69,408
貸倒引当金	▲ 732	社債	10,000
固定資産	86,030	新株予約権付社債	14,368
有形固定資産	39,656	長期借入金	7,914
建物・構築物	17,727	退職給付引当金	35,774
機械装置及び運搬具	8,506	その他	1,351
土地	9,425		
その他	3,997	負債合計	198,382
無形固定資産	8,422	少数株主持分	
投資その他の資産	37,952	少数株主持分	4,090
投資有価証券	23,840	資本の部	
長期貸付金	298	資本金	15,858
繰延税金資産	11,051	資本剰余金	11,329
その他	3,152	利益剰余金	20,367
貸倒引当金	▲ 391	その他有価証券評価差額金	4,739
		為替換算調整勘定	764
		自己株式	▲ 309
		資本合計	52,750
資産合計	255,222	負債、少数株主持分及び資本合計	255,222

● 連結損益計算書（単位：百万円）

自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
経常損益の部	
営業損益の部	
売上高	322,916
売上原価	232,052
販売費及び一般管理費	66,377
営業利益	24,486
営業外損益の部	
営業外収益	2,042
受取利息及び配当金	293
雑収益	1,749
営業外費用	2,198
支払利息	1,469
雑支出	728
経常利益	24,331
特別損益の部	
特別利益	447
特別損失	7,492
税金等調整前当期純利益	17,286
法人税、住民税及び事業税	9,617
法人税等調整額	▲ 2,803
少数株主利益	314
当期純利益	10,157

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成17年3月21日 至平成18年3月20日

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	17,286
減価償却費	6,699
投資有価証券売却益	▲ 80
売上債権の増減額	9,069
たな卸資産の増減額	▲ 4,505
仕入債務の増減額	▲ 1,742
法人税等の支払額	▲ 11,677
その他	3,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産等の取得による支出	▲ 9,300
有形固定資産等の売却による収入	433
投資有価証券等の取得による支出	▲ 645
投資有価証券等の売却による収入	231
その他	▲ 448
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 9,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	▲ 8,951
長期借入による収入	30
長期借入金の返済による支出	▲ 5,877
その他	▲ 136
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 14,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	309
現金及び現金同等物の増加額	▲ 5,630
現金及び現金同等物の期首残高	17,906
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少	▲ 173
現金及び現金同等物の期末残高	12,102

単独財務諸表（要約）

● 単独貸借対照表（平成18年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	100,930	流動負債	81,823
現金及び預金	6,304	支払手形	4,419
受取手形	6,140	買掛金	41,501
売掛金	48,757	短期借入金	12,146
たな卸資産	24,021	未払費用	9,963
繰延税金資産	2,545	未払法人税等	1,806
短期貸付金	6,786	その他	11,986
その他	6,393	固定負債	58,996
貸倒引当金	▲ 17	社債	10,000
固定資産	75,288	新株予約権付社債	14,368
有形固定資産	27,226	長期借入金	6,314
建物・構築物	11,017	退職給付引当金	27,166
機械装置	5,867	債務保証損失引当金	1,147
土地	8,442	負債合計	140,819
建設仮勘定	223	資本の部	
その他	1,675	資本金	15,858
無形固定資産	6,415	資本剰余金	11,329
投資その他の資産	41,646	資本準備金	11,326
投資有価証券	31,996	自己株処分差益	2
長期貸付金	1,329	利益剰余金	3,803
繰延税金資産	7,999	当期末処理利益	3,803
その他	4,513	その他有価証券評価差額金	4,536
貸倒引当金	▲ 4,189	自己株式	▲ 128
		資本合計	35,399
資産合計	176,219	負債及び資本合計	176,219

● 単独損益計算書（単位：百万円）

自平成17年3月21日 至平成18年3月20日	
経常損益の部	
営業損益の部	
売上高	189,518
売上原価	147,560
販売費及び一般管理費	33,810
営業利益	8,146
営業外損益の部	
営業外収益	6,298
受取利息及び配当金	6,221
雑収益	77
営業外費用	1,398
支払利息	589
雑損失	808
経常利益	13,047
特別損益の部	
特別利益	336
特別損失	7,145
税引前当期純利益	6,238
法人税、住民税及び事業税	3,759
法人税等調整額	▲ 1,324
当期純利益	3,803
前期繰越利益	-
当期末処分利益	3,803

● 利益処分（単位：百万円）

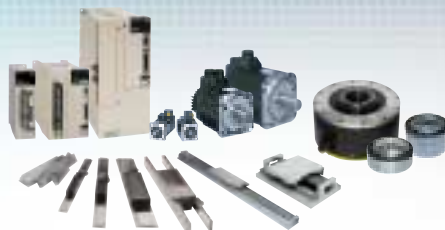
平成18年3月期	
当期末処分利益	3,803
これをつぎのとおり処分します。	
株主配当金	1,396
取締役賞与金	83
次期繰越利益	2,324

環境保護に貢献する安川製品

モーション
コントロール

設備運転中の環境負荷を抑えます。

ACサーボは、機械の油圧から電動式への切替や、高効率運転により工場設備の環境負荷低減に貢献しています。



人に快適な生活環境づくりをささえます。

インバータは、学校や病院の空調ファン、給水ポンプ、エレベータ、エスカレータ、クレーンなど、多くの可変速用途にご使用いただくことで、快適な生活環境と地球環境を守ります。



ロボティクス
オートメーション

環境負荷低減と 生産性向上に役立っています。

小形化（省エネ）・有害化学物質不含有（グリーン）や分解の容易性（リサイクル）など、ロボット本体が地球環境に与える環境負荷をできる限り少なくする製品アセスメント（環境対応評価）を実施して、様々な用途の環境配慮形産業用ロボットを開発しています。



システム
エンジニアリング

省エネルギーを推進する 製品を提供しています。

高圧ドライブ装置は、モータを最適に制御することによって、大幅な消費電力の削減を実現し、地球環境保全への貢献とランニングコストの低減という、2つのメリットを得ることができます。



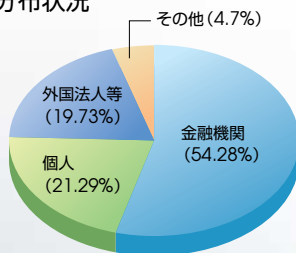
株式の状況 (平成18年3月20日現在)

会社が発行する株式の総数 …… 560,000 千株
 発行済株式総数 …… 232,915 千株
 株主数 …… 22,197 名

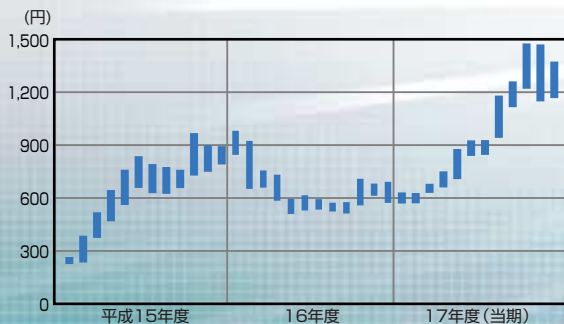
主要大株主

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,990 千株	9.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,807 千株	7.21%
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,071 千株	3.46%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.42%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.42%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.73%
ピーピーエイチ ルクス フィデリティ ファンズ ジャパン	5,639 千株	2.42%
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,451 千株	2.34%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	5,365 千株	2.30%
バンクオブニューヨーク・ロップリミテッド131705	4,790 千株	2.05%

所有者別株式分布状況



当社株価の推移



役員 (平成18年6月16日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	武井 紘一
常務取締役	鬼頭 正雄
常務取締役	岩田 定廣
常務取締役	堀田 忠和
取締役	佐藤 光昭
取締役	沢 俊裕
取締役	宮原 範男
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
取締役	中村 公規
取締役	小笠原 浩
取締役	本松 修
監査役(常勤)	山崎 宗重
監査役(常勤)	実松 敏文
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎

株主メモ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(配当金受領) 株主確定日	毎年3月20日(期末配当金) 毎年9月20日(中間配当金)	(郵便物送付先) 電話照会先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	東京・福岡		

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル 0120-288-324

インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

会社の概要

商号 株式会社 安川電機
英文社名 YASKAWA Electric Corporation
設立 大正4年7月16日
従業員 7,754名（連結） 2,784名（単独）
事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号
電話 (093) 645-8801
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号
電話 (03) 5402-4502
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号
電話 (052) 581-2761
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号
電話 (06) 6346-4500
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号
電話 (092) 714-5331
工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所
入間事業所・小倉事業所

国内関連会社

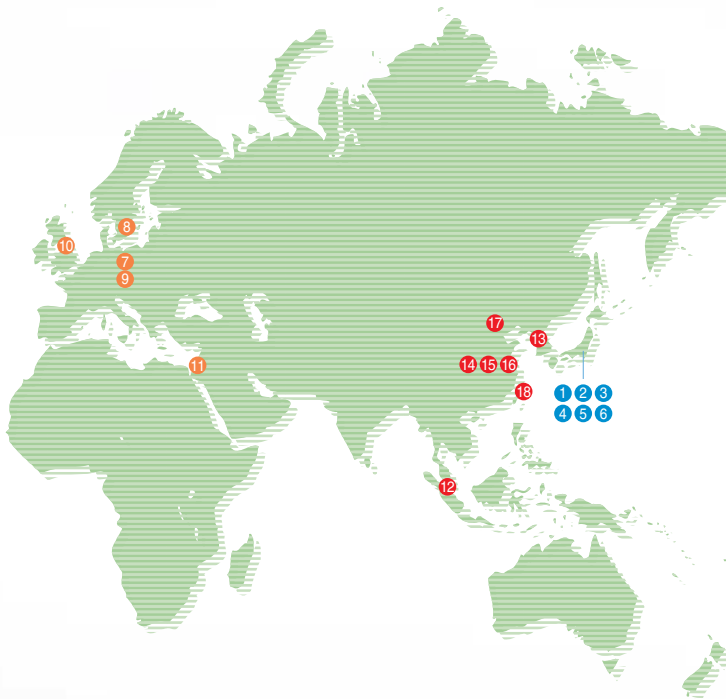
JAPAN

- 1 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造および販売
- 2 安川情報システム株式会社
計算処理受託・ソフトウェア開発
- 3 安川コントロール株式会社
電気機械器具およびその部品の製造および販売
- 4 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備および技術指導
- 5 株式会社 安川ロジステック
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 6 安川モートル株式会社
電動機、発電機および電動機応用製品の設計、製造、販売

海外関連会社

EUROPE

- 7 YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- 8 MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- 9 MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- 10 YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- 11 YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発および製造



ASIA

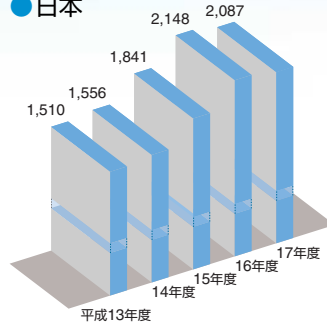
- 12 YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- 13 YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- 14 SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO.,LTD (中国)
電気機器の製造・販売・サービス
- 15 YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD.(中国)
電気機器の輸入・販売・サービス

会社所在地別・売上高の推移

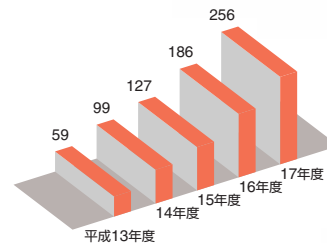
単位:億円



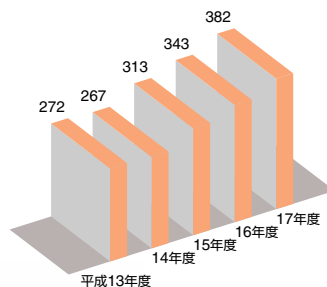
● 日本



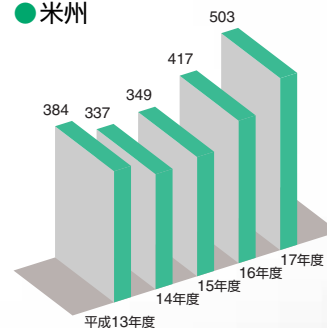
● アジア (日本を除く)



● 欧州



● 米州



ASIA

- ⑯ SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
電気機器の製造・販売
- ⑰ SHOUGANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑱ YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス

AMERICA

- ⑲ YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑳ MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- ㉑ SYNETICS SOLUTIONS INC. (アメリカ)
半導体製造機器の開発・設計・製造・販売
- ㉒ YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス



- 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。